



2025年9月25日  
秋田ノーザンハピネッツ株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社

## こども食堂の発展に関する連携協定の締結について

秋田ノーザンハピネッツ株式会社(代表取締役社長:水野 勇氣)及び東日本旅客鉄道株式会社秋田支社(執行役員秋田支社長:小泉 暁)は、秋田ノーザンゲートスクエアでのこども食堂事業の開始に伴い「こども食堂の発展に関する連携協定」を締結しました。  
今後の秋田県のこども食堂の発展に向けて両社協力して取組みを進めてまいります。



### 1 締結日

2025年9月25日(木)

### 2 覚書名

こども食堂の発展に関する連携協定書

### 3 連携事項

- (1) こども食堂の拠点となる場所の提供及び環境整備に関すること。
- (2) こども食堂の活動に関する広報及び地域への情報発信に関すること。
- (3) 両社に所属する選手・スタッフとこどもたちとの交流事業の企画及び実施について検討すること。
- (4) 地域住民や企業、団体等との連携の情報協力に関すること。
- (5) その他、前項の目的を達成するために必要と認められる事項。

### 4 取組事項

別紙参照



JR東日本

秋田支社

こども食堂に関する連携協定の共同記者発表ならびに

秋田ノーザンハピネッツのこども食堂“みんなのテーブル”秋田ノーザンゲートスクエア店新規開設のお知らせ

2025.9.25

秋田ノーザンハピネッツ株式会社 × 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社



“みんなのテーブル”は2021年10月に開設した秋田県で唯一の常設のこども食堂です。当時はプロスポーツチームとしても全国初の取り組みで、これまでに約4年間、継続的に運営を続けてきています。



営業日

火曜日・水曜日・金曜日・土曜日

営業時間

各曜日の16:00~20:00

料金

子ども（中学生以下）：無料  
高校生：300円  
大人：1,000円（ひとり親：無料（週1回））

住所

秋田県秋田市広面字釣瓶町140-1  
駐車場：14台

- ・ 中学生以下の子どもは料金が無料となります。
- ・ 児童扶養手当受給者（ひとり親かつ困窮している家庭）に向けて、秋田市役所からチラシを配布し、チラシを持参いただいたひとり親の方には会員登録をいただきます。会員登録をしていただくと、ひとり親の方も週1回だけ無料で食事をする事ができます。



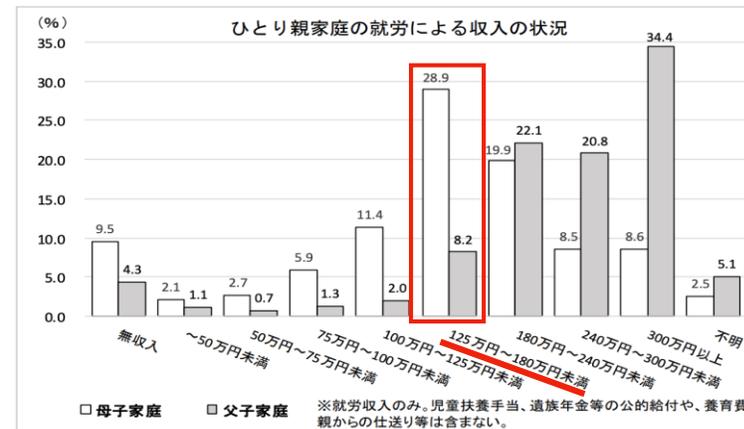
会員カード

＜ 秋田県内のひとり親家庭の子どもの数 ＞

16,689 人

出典：秋田県（令和3年3月）『第2次秋田県子どもの貧困対策推進計画』

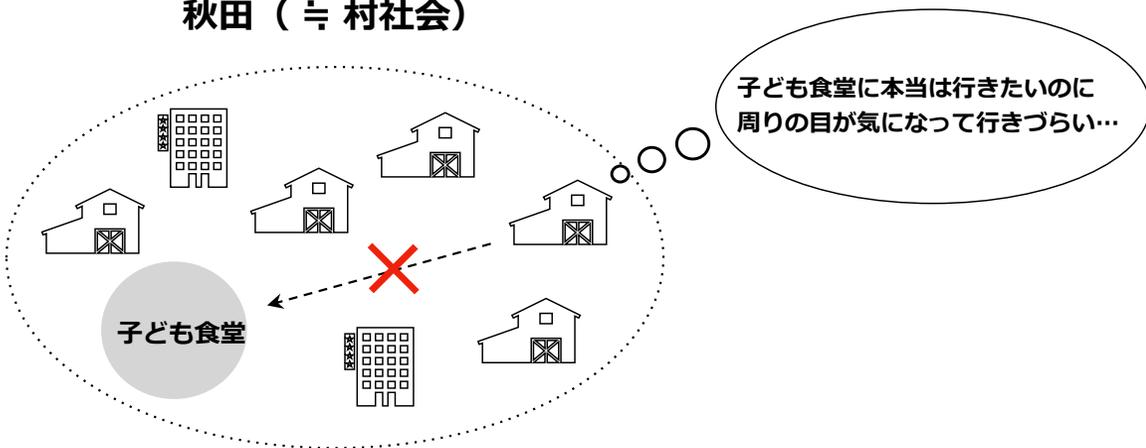
＜ ひとり親家庭の就労による収入状況 ＞



出典：秋田県（令和3年3月）『第2次秋田県子どもの貧困対策推進計画』

＜ こども食堂に対するネガティブイメージ ＞

秋田（≒村社会）



秋田県の調査によると、秋田県内のひとり親家庭の子どもの数は**16,689人**となっている一方、県内のひとり親家庭の就労による収入状況を見ると、ひとり親家庭の就労による収入の状況は125～180万円がボリュームゾーンとなっています。加えて秋田県は車社会であるため、ひとり親世帯の多くも車を所持しており、車の維持費や家賃・水道光熱費、衣服等の生活用品の購入費用等を考えると、**食費が切り詰められているのではないか**という推察がたち、なおさら子ども食堂の存在が必要なのではないかと考えました。

秋田県ではまだまだ「村社会」の要素も残っているため、必要にもかかわらず周囲の目が気になり子ども食堂に足を運べない人もいます。子ども食堂に対してネガティブイメージが残っているのが実情であり、それらの課題解決のため、プロスポーツチームとして子ども食堂に取り組む意義があると考えました。



公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグと公益財団法人日本財団は、地域課題解決を推進する取り組みにおける連携をさらに強化し、「まちづくり」をテーマとした「B.LEAGUE×日本財団まちづくり助成」事業を開始しており、「スポーツチーム型のこども居場所モデル」の普及事業も採択いただいています。

本事業のゴールは、当チームが築くこのモデルを全国のBリーグ・Jリーグのクラブ等へと広げ、地域特性に応じた持続可能な子どもの居場所づくりを実現することです。プロスポーツチームが地域課題の解決に貢献する存在となる社会の実現を目指し以下の3つの事業を実施します。



### ①常設型の居場所づくり

- 旧こまちベビー園に、遊びと食を兼ね備えた常設拠点を開設
- みんなのテーブルをモデルとし、週3日こども食堂を開設
- 選手、社員も活用できる食堂として機能

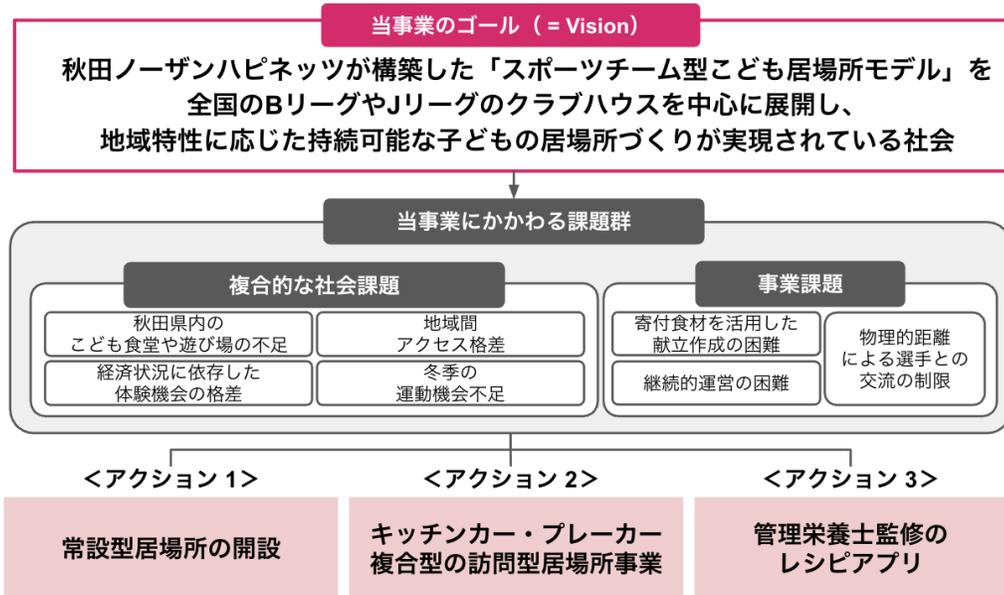
### ②訪問型の居場所づくり

- 既存のキッチンカーを活用しラッピング
- 行政と連携した各地でのこども食堂+ジュニアスポーツ教室をベースとした身体づくりの機会の提供
- 2025年9月～2026年2月までに秋田県内全25市町村を訪問



### ③レシピアプリの開発

- 既存のみんなのテーブルのレシピを中心に、寄付してもらった食材などを入力すると、管理栄養士の知見を活用した栄養価の証明できる献立を自動立案、レシピも可視化
- 本事業の予算をベースに、システム開発社を公募予定





### 秋田ノーザンゲートスクエア

既存店舗は、“みんなのテーブル”広面店と名称を変更し、これまでと変わらず運営を続けます。今回は、“みんなのテーブル”秋田ノーザンゲートスクエア店を新設し、2店舗体制となります。



新店舗イメージ図

< プレオープン日 >  
**9月27日 (土)**

< オープン日 >  
**10月2日 (木)**

営業日

木曜日・金曜日・土曜日

営業時間

各曜日の17:00~20:00

席数

約20席

料金

子ども（中学生以下）：無料  
高校生：300円  
大人：1,000円（ひとり親：無料（週1回））

住所

秋田県秋田市中通7丁目1番 2-3号  
秋田ノーザンゲートスクエア 1F

その他

遊び場等も  
拡充予定

【両社で取り組む検討事項】



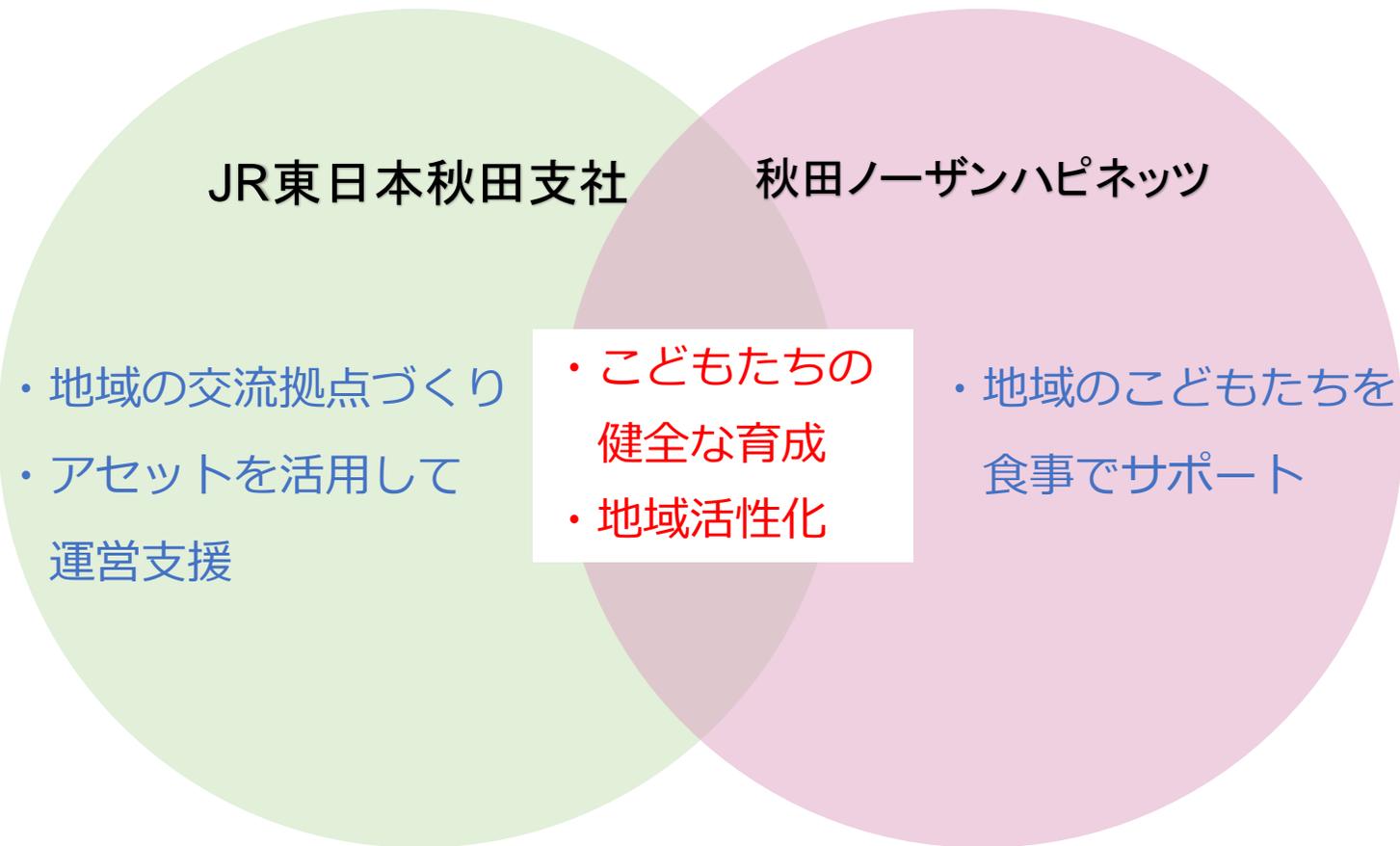
	こども食堂の運営サポート	駅を活用した学びの場づくりの検討	両社で連携したフードロス削減に向けた検討	バスケットボールを通じた地域交流に向けた検討
連携内容	秋田ノーザンハピネット株式会社とJR東日本秋田支社でこども食堂に関するスポンサー契約を今後締結	こども食堂の利用者を中心に駅等で実施するお仕事体験イベントへの招待	JR東日本秋田支社及びグループ会社と連携し、フードロス削減に向け、こども食堂への食材提供	こども食堂の利用者と両社のバスケットボールチームに所属する選手との交流機会創出
期待効果	こども食堂に関する情報発信を連携して取り組むことにより、幅広い方々の利用機会へ繋げる	こども食堂の利用者を中心とした地域のこどもの学びの機会提供	こども食堂の食材不足改善や多様な食材確保により、多くの方々の利用機会創出を図る	地域の方々との交流を図ることにより、こどもたちへスポーツの楽しさを広めること

【こども食堂の運営サポート】

連携内容	期待効果
秋田ノーザンハピネッツ株式会社とJR東日本秋田支社でこども食堂に関するスポンサー契約を今後締結	こども食堂に関する情報発信を連携して取組むことにより、幅広い方々の利用機会へ繋げる



スポンサー契約



こども食堂運営

## 【駅を活用した学びの場づくりの検討】

連携内容	期待効果
こども食堂の利用者を中心に駅等で実施するお仕事体験のイベントへの招待	こども食堂の利用者を中心とした地域のこどもの学びの機会提供



駅員体験イメージ



車両学習イメージ

### 【両社で連携したフードロス削減に向けた検討】

連携内容	期待効果
JR東日本秋田支社及びグループ会社と連携しフードロス削減に向けこども食堂への食材提供	こども食堂の食材不足改善や多様な食材確保により、多くの方々の利用機会創出を図る



※生成AI作成



【バスケットボールを通じた地域交流に向けた検討】

連携内容	期待効果
こども食堂の利用者と両社のバスケットボールチームに所属する選手との交流機会創出	地域の方々との交流を図ることにより、こどもたちへスポーツの楽しさを広めること



JR東日本秋田バスケットボール部「ペッカーズ」



秋田ノーザンハピネッツ